

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
まる・さんかく・しかく ～いろいろな形を使ったもので遊ぼう～	小	グループ学習 高学年ラッコ （国語・算数）	瀧井健太 奥林美紀

<ねらい>

- ・絵本に興味をもち、見聞きしたり、絵本を介して教師とやりとりしたりする。
- ・「まる」「さんかく」「しかく」の形に興味をもつ。
- ・それぞれの形のものを使った遊びに取り組む。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1. くぐってみよう （形の弁別、形の一致）	<ul style="list-style-type: none"> ・抽選箱から紙を1枚引く。 ・紙に書かれた形を確認する。 ・同じ形の枠の中をくぐる。 <p style="text-align: center;">↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色も手がかりにできるように、くじの形の色を枠の色に揃えたものを入れておく。 ・□（しかく）のもの→箱と繋がるように手や体で表現して伝える。 ・「完成!」と言ったり拍手したりして、できたことを分かるようにする。
2. パズルをしよう。 （しかくのものを使った遊び）	<ul style="list-style-type: none"> ・箱パズルを組み立てる。 （○→たぬき、△→傘、□→ぞうが箱に4分割で描かれている） 	

<内容（工夫点など）>

- ・興味の幅が狭かったり、得意な活動に違いのある児童が集まったりしていたため、活動内容の選定が難しかったが、発達年齢や課題に即して、形に興味を持てるような教材を作った。
- ・同じ内容が続いて飽きがこないように、○→風船/バレー、△→傘の玉入れ、□→箱パズルを2～3回ずつ程度にした。（でも繰り返しも大切であった）
- ・絵本で一人一人やりとりをして尋ねる際に、あらかじめ何を尋ねるのを整理してから聞くようにした。その際、発達検査の結果なども参考にした。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・今年度、採用された教科書を活用したことが良かった。
- ・他の児童が完成させたパズルをみんなでみるのができたのが良かった。
- ・活動の内容が分かりやすかった。

① えほん



② くぐってみよう



③ 箱パズル



